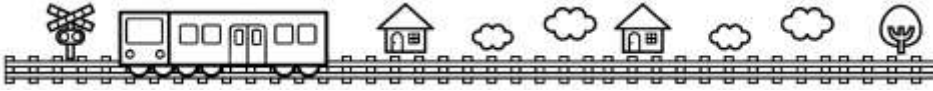


2月

尾久二だより

令和5年1月31日
荒川区立尾久第二幼稚園



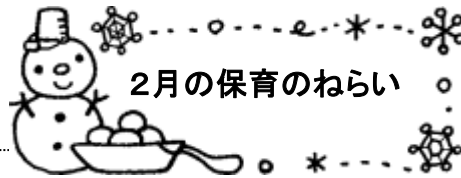
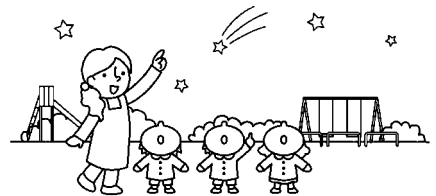
キラキラ光る 夜空の星



先日、園児全員でのバス遠足がありました。行先は足立区のギャラクシティです。ギャラクシティには大きなプラネタリウムがあります。子供たちが鑑賞する時間は、なんと尾久第二幼稚園の他に人がおらず、貸切です。ちょっと大きくてふかふかした椅子に子供たちが座り、興味深々にドームを見上げています。解説員の方のお話と共にドームがぼんやり暗くなり、夜空に明るい星が3つ…星はたったこれだけ？とっていると、「街明かりがあると星がよく見えません。ちょっと街明かりを消してみましましょうか。」と解説員の方が仰いました。そして街明かりが消え真っ暗になると、なんと大きなドームいっぱいたくさんの星が浮かびキラキラと輝いていました。子供たちは思わず「わあー！」「きれい！」「きらきらしてる！」と歓声をあげました。その歓声が純粋な驚きや喜びに満ちていたため、その場にいた私も思わず「すごいね！」と一緒に声をあげていました。

次の日の朝、「昨日の夜、星が見えるかもと家の窓から外を見たんです。」とお子さんの様子を教えてくださいました保護者の方がいらっしゃいました。遠足での体験が、本物の星を見たいという意欲を生み、家に帰った後も興味関心を持ち続けていることを知り、とても嬉しく思いました。園で体験したことをきっかけに湧き出てきた好奇心や興味を逃さずに、園生活や家庭、小学校へとつなげ、「知りたい！」「学びたい！」という子供たちの意欲を伸ばしていく大事さを改めて感じた出来事でした。それと同時に、キラキラと星が光る夜空をゆっくり見たのはいつだろうと振り返り、なかなかそんな時間をとれずにいることに気付かされました。

毎日忙しい保護者の皆様もそうではありませんか。冬の夜空は星座でいっぱいだとギャラクシティの解説員の方が教えてくださいました。オリオン座、おおいぬ座、こいぬ座、冬の大三角…夜空を見上げて探してみませんか。



2月の保育のねらい



うさぎ組

- 生活の見通しをもち、身の回りの始末を自分でしようとする。
- 友達との遊びや物語の世界を楽しむ中で、言葉のやりとりや表現する楽しさを味わう。
- 身近な冬の自然に気付き、見たり触れたりすることを楽しむ。



りす組

- 様々な遊びに自分から取り組んだり、挑戦したりすることを楽しむ。
- 自分の思いを表して、友達と一緒に伸び伸びと表現する楽しさを味わう。
- 進級することに期待をもちながら、遊びや生活を意欲的にすすめていく。



いるか組

- 一人一人が自分の力を発揮し、意欲的に遊びや生活に取り組む中で、友達とのつながりを深める。
- 冬の自然に関心をもち、探求したり、伝統行事に親しみをもち遊びや生活に取り入れたりする。